

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第35号—

令和4年1月11日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

新年あけましておめでとございます。

皆様におかれましては、希望あふれる新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。本年も、子どもたちの健やかな成長を願って、教職員一同、力を合わせて頑張ります。ご支援のほど、よろしくお願いたします。さて、昨年東京五輪での日本人の活躍に大いに沸いた1年でした。金銀銅合わせて58個のメダルは史上最多、パラリンピックにおいても51個のメダルを獲得しました。また一方では、新型コロナウイルス感染症の変異株が猛威を振るった年でもありました。新型コロナウイルス感染症の一日も早い終息を祈るばかりです。

3学期は、1年間の中でもっとも短い学期です。日没が早く、子どもたちが登校する日数も少ないため、1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」と言われるように、月日の流れがより早く感じられる時期です。一日一日を大切に、これまで目標達成に向けて努力してきたことを、さらに一つ一つ積み上げて行ってほしいです。

1月行事予定

- 11日(月) 第3学期始業式
- 12日(水) 体位測定(高)・つよし検定
- 13日(木) 書き初め大会
- 14日(金) 体位測定(低)・つよし検定
- 17日(月)～21日(金) 書き初め展
オープンスクール
- 19日(水) フラワーアレンジメント教室
- 21日(金) 授業参観・学級懇談会
- 24日(月) クラブ活動

始業式での講話「人間はすばらしい」

本日の始業式で、作家の椋鳩十の著書「人間はすばらしい」の内容を紹介し校長講話を行いました。

トンボにしろ、アリにしろ、ハチにしろ、ヘビにしろ、みんな不思議な力、不思議なというより、すばらしい力を与えられている。例えば、コウモリは超音波を出す。アリだって自分の体重の何倍もの物を運んで歩くような力を持っている。超音波を出さないコウモリや、力のないアリは一匹もいない。すばらしい力を与えられずに生まれてきているものは、一つもない。その中で、人間はまたすばらしい。なぜって、人間は動物としての生きる力の他に、それぞれが別の力を与えられているからだ。絵の上手な人。歌のうまい人。足の速い人。手先が器用な人。自分の中にすばらしい宝物を、どんな人でも、みんな一人一人もっている。「すばらしい力」をもっていない人間は一人もいない。君も。君も。君も。みんな「すばらしい力」をもっている。そういう「すばらしい力」を発揮するために、勉強したり、本を読んだり、練習したりして大きくなるのだ。

3学期はあっという間です。皆さんには、一日一日をおろそかにすることなく、進級や進学という目標に向かって、学年のまとめにしっかり取り組んでほしいと思います。そして、一人一人に備わった「すばらしい宝物」がさらに輝くように、学習に対しては向上心を持ち、友達や担任の先生とのかけがえのない思い出づくりのためにも、残された時間を大切に過ごしてほしいと願います。

